

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
郡山市	田村町金沢地区 (金沢)	令和3年3月10日	令和6年3月13日

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	125.4 ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	96.8 ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	20.9 ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	13.5 ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	-
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	32.6 ha
(備考)	

2 対象地区の課題

金沢地区の農地の状況については、70才以上で後継者未定の耕作面積が13.5ha、中心経営体の引き受け意向がある耕作面積が32.6haであり、現状後継者未定の農地については中心経営体が引き受け可能だが、今後地区の農業を守り維持していくために後継者の確保、育成が必要である。

【地域の話合いにおいて抽出された課題】

- ①小区画の農地が多く、農業用道路が荒れていることなどにより作業性が悪い。
また畦畔や法面の面積が大きいため除草作業の労力が多大である。
- ②用水不足により作付けできない田がある。
- ③害獣(イノシシ、ハクビシン、タヌキ等)の被害が発生している。
- ④農作物の価格が安いためモチベーションが上がらない。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

田村町金沢地区の農地利用は、中心経営体である認定農業者5法人及びその他1経営体が担っていくほか、今後地域内に新規就農者や後継者が就農した場合には中心経営体に位置付け農地集積・集約化により効率的に活用していく。

中心経営体

属性	農業者 (氏名・名称)	現状		今後の農地の引受けの意向		
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む範囲
計	6 経営体		14.4 ha		47 ha	

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

・ 基盤整備、ため池の整備等の取組
生産効率の向上や農地集積、集約化を図るために、基盤整備に取り組み、また、ため池の浚渫(しゅんせつ)等も併せて検討していく。

・ 鳥獣被害防止対策の取組方針
現在実施している電気柵及び箱罾の設置を、行政センター等との連携を図りながら継続して実施していくことにより対策の強化を図っていく。休耕地を把握し、草刈り作業などを実施することで隠れ場所をなくすなど、地域全体で対策を講じることで獣害の発生を未然に防いでいく。

・ 地域農業全体について
既存の多面的機能支払組織等の活動を継続することにより、農道、用排水路等の維持管理を行い、また、地域共同で同一品目で面積拡大により産地形成を図る。
農業用機械や施設等の導入・更新の際は積極的に補助事業を活用していく。

・ 農地中間管理機構の活用方針
地区内の農地所有者がリタイアするなどの場合には原則として農地中間管理機構に貸し付けることとする。また、中心経営体は何らかの事情により営農の継続が困難になった場合には農地バンクの機能を活用して、新たな受け手へ農地の貸付を進める。